

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
平成12年1月31日 第44報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanizomenon sp.*</i>	10		
(黄鞭) <i>Dinobryon cylindricum</i>	22		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	30		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	1000		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	47		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	31		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	24		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	30		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	160		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	30		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	80		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	320		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	10	0.5	5.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	52	2.8	11.4
(珪) 珪藻綱	1362	74.6	58.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	400	21.9	21.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1	0.1	3.6
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1825	総体積	9.0E+05
種類数	16	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	660

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnopsis cratera</i>	120

\*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

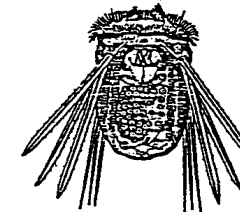
### 植物プランクトン第1優占種



***Cyclotella glomerata***  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

殻面は円形でその直径は4~10 $\mu\text{m}$ と小さい。多数が鎖状に結合して群体を形成している。

### 動物プランクトン第1優占種



***Polyarthra vulgaris***  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント:  
植物プランクトンはヒメマルケイソウが多く計数され第1優占種となった。また、本種は1月下旬の赤野井湾内でも15,000細胞/ml、長浜港内でも3,900細胞/mlと多く計数され第1優占種となっている。動物プランクトンは、先週に引き続きハネウデワムシが最も多く計数された。